

櫻

けやき

小牧幼稚園 園だより 第370号 2021年10・11月
教育目標「神を敬い 人を愛し 平和を作り出す子どもを」

年主題「共に喜んで」～すべての歩みの中～

年聖句「一つ部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです」

コリントの信徒への手紙1 12章26章

日本の気候を表す言い方に「暑さ寒さも彼岸まで」と云われますが、残寒・残暑も彼岸の頃まで続いて、彼岸を過ぎるとやわらぎ、体に合った良い季節になると言われ、昭和後の教育の場では、この頃に運動会を行うようになったようです。

数年前から、中々涼しくならないので、少し遅らせて日程を組みましたが、今年の暑さはまだ続きます。それでも、子どもは体を動かすことが大好きで、毎日、シャワーを浴びたような頭をして、保育室に帰ってきます。勿論、性格と同様に、色々な個性を持っていますので、どこまで仲間と共有して楽しんでるかはわかりませんが、運動会を楽しんで、興味を持ちながら、新しい季節に新しい行事に、新たな発見をするために動き回っています。それが「遊び」なのです。小牧幼稚園の運動会は、先生から「やらされる」運動でなく、子どもが持つ「遊び」への興味を、先生が、環境を整えながら子どもの遊びを発展させます。それが、小牧幼稚園の運動会です。運動会ごっこから始まり、当日の運動会（親に見せることを含め）になり、又、3学年がそれぞれ見た、運動会種目を試しながらの来年への思い期待へとつなげ、園庭での運動会ごっこで終わります。

運動会は日本では明治初期から行われていると思われています。当初は軍事教練の一つとして始まったと言われます。だから、敵に勝つためにいかに工夫鍛錬するか、また、えらい方々の前で、一糸乱れぬよう整列し行進する、そんな運動会が今も残っています。ところが、小牧幼稚園の運動会は、入場行進はなく、それぞれの場から飛び出してきます。「さ一出番」という顔つきをお楽しみください。

余談ですが、調べてみると、彼岸とは、仏教の教えの中にある、浄土思想でいう「極楽浄土」は西の方角にあり、1年の内で2度、昼と夜の長さが同じになる春分と秋分は太陽が真東から登り、真西に沈むので東西が平行にまっすぐになり、西の「極楽浄土」に行きやすいようです。この季節に合わせ、色々な仏教行事が行われるようです。私には理解できない話ですが、只、この風習は、日本だけで、インドや中国の仏教風習にはないのだそうです。地球の公転のため正確ではありませんが、秋の彼岸は秋分の日（9月23日）を挟んだ一週間だそうです。気候が体に合うようになった、この頃に、中学校・小学校の運動会が行われ、日にちが重ならない様、その後、小牧幼稚園も運動会を行っていました。しかしながらこの数年の温暖化でこの3年は、時期をずらして行っていますが、その上に、コロナの影響で、1年を通して、行事の再確認をしながら園で毎日過ごしています。一つ上の学年が楽しんだ競技を、来年は私たちがするんだ、という子どもの思い、それを繋げていくことが、今の私たちの仕事の重

要課題と考えています。子どものために、色々経験を積むことが出来るよう「コロナ世代の子」だからとあきらめることなく、過ごしたいと思います。

11・12月の給食メニュー

11月	2日(火)	デニシュパン	ソーセージ	果物
	4日(木)	鶏ごぼう飯		果物
	5日(金)	中華飯		果物
	9日(火)	クロワッサン	鶏のから揚げ	果物
	11日(木)	五目うどん		果物
	12日(金)	豚汁	お芋ご飯	フルーツポンチ (収穫感謝祭)
	16日(火)	デニシュパン	ソーセージ	果物
	18日(木)	きのこご飯		果物
	19日(金)	焼きそば		果物
	25日(木)	ハヤシライス		果物
	26日(金)	麻婆豆腐ご飯		果物
	30日(火)	クロワッサン	手作りコロッケ	果物
12月	2日(木)	カレーうどん		果物
	3日(金)	中華五目御飯		果物
	7日(火)	デニシュパン	ソーセージ	果物
	9日(木)	ひじきご飯		果物
	10日(金)	味噌煮込みうどん		果物
	14日(火)	シュートレン	ソーセージ	果物
	16日(木)	クリームシチュー	ご飯	果物
	17日(金)	カレーライス		果物

*食材の都合で、メニューの変更もあります。

*原田先生が、夏休みの間に「入籍」しました。「中里理沙」さんとなりました。今年度中は、今まで通り、原田先生で良いそうです。

*収穫感謝祭について

1620年9月、イギリスの清教徒がアメリカ大陸に上陸しました。その1年は慣れない土地での生活は困難を極め多くの方が病気と飢えで亡くなりました。翌年、先住民族たち（以前は、インディアンと呼ばれ、現在は差別用語です）から土地に適した、種を貰い、植え方を教えられ、豊かな収穫を得ることが出来ました。清教徒たちは、神に祈り、感謝して先住民たちと仲良く、共に食事をしたのが始まりと云われます。今年も2年前の様に収穫感謝祭パーティーはできませんが、今の時代こそ、みんなで仲良く食事をするのが、楽しいこと、そして大切なこと、と子どもに伝えたいと思います。

☆バザーについて

今年度も、昨年同様コロナ感染予防のため残念ですがバザーの開催は見送ります。現在、コロナ患者が減少していますので、来年度は是非行いたいと思いますので、2年分の献品のご用意をお願いします。コロナ過でますます困っている方が増えています。来年度は、ご支援したいと思います。また、卒園生のお母さんが、小牧市新町で「子ども食堂」を行っています。関心がある方は、幼稚園までお問い合わせください。

☆今年のクリスマス会は小牧勤労センターで開催予定です。

☆このまま感染者が減少すれば、正月明けには、家族で「お餅つき」をしたいと思っています。